

第 128 回 地区内中小企業 景気動向調査結果

(2020年 10月～ 12月実績)

(2021年 1月～ 3月予想)

***** 目 次 *****

地区内データベース	1
全国 ・ 全道の概況	4
調査の概要	5
全業種総合	6
製造業	9
建設業	11
卸売業	13
小売業	15
サービス業	17
特別調査	19

地区内データベース

1. 人口・世帯数動向（令和2年12月末）

町 村 名	人 口			世 帯 数		
	人 数	前年同月比	3 月 末 比	世 帯 数	前年同月比	3 月 末 比
平 取 町	4,785	-138	-191	2,460	-38	-63
日 高 町	11,338	-294	-345	6,008	-89	-112
新 冠 町	5,392	-92	-103	2,749	-8	6
新ひだか町	21,866	-370	-457	11,566	-82	-47
浦 河 町	11,998	-168	-288	6,648	-25	-62
様 似 町	4,125	-105	-160	2,138	-32	-45
え り も 町	4,517	-106	-126	2,109	-19	-1
広 尾 町	6,547	-122	-158	3,290	-30	-13
大 樹 町	5,446	-80	-97	2,723	-10	15
日高・十勝地区合計	76,014	-1,475	-1,925	39,691	-333	-322
札 幌 市	1,961,575	2,262	7,692	1,078,932	9,940	17,573
江 別 市	119,815	235	1,001	58,685	659	1,464
石 狩 市	58,282	-6	22	28,174	286	540
北 広 島 市	58,130	-135	-332	27,976	248	406
恵 庭 市	70,097	48	471	34,136	396	805
千 歳 市	97,919	395	1,354	50,790	716	1,588
石狩地区合計	2,365,818	2,799	10,208	1,278,693	12,245	22,376
苫 小 牧 市	170,205	-1,037	-1,070	89,992	532	1,259
厚 真 町	4,420	-80	-139	2,090	-27	-52
む か わ 町	7,735	-135	-290	4,064	-18	-100
胆振地区合計	182,360	-1,252	-1,499	96,146	487	1,107
営業区域合計	2,624,192	72	6,784	1,414,530	12,399	23,161

*日高町の人口に外国人登録者数は含まれていません

(資料出所：各市町村)

2. 企業倒産状況（令和2年10～令和2年12月中）

単位：件・百万円	件 数	負 債 金 額	件数前年同期比	金額前年同期比
苫 小 牧 管 内	3	215	3	215
(内・新冠町～えりも町)	0	0	0	0
業種および件数				
地区および件数				
北 海 道	32	5,422	-11	-3,004
全 国	1,751	318,961	-460	-48,933

3. 労働需給状況

令和2年10月

	浦河 (人・倍)	全道 (人・倍)	前年同月比(%・ポイント)		前月比(%・ポイント)	
			浦河	全道	浦河	全道
月間有効求人数	821	80,551	-12.57	-15.65	1.11	4.52
月間有効求職者数	649	83,398	4.85	10.76	2.85	2.41
月間有効求人倍率	1.27	0.97	-0.25	-0.30	-0.02	0.02

令和2年11月

月間有効求人数	825	80,253	-25.47	-13.13	0.49	-0.37
月間有効求職者数	660	81,174	12.82	12.71	1.69	-2.67
月間有効求人倍率	1.25	0.99	-0.64	-0.29	-0.02	0.02

令和2年12月

月間有効求人数	835	77,768	-27.52	-11.22	1.21	-3.10
月間有効求職者数	633	78,869	12.83	15.23	-4.09	-2.84
月間有効求人倍率	1.32	0.99	-0.73	-0.29	0.07	0.00

(資料出所：厚生労働省 北海道労働局)

4. 浦河町・新ひだか町静内 金融機関預金・貸出金残高 (令和2年12月末現在)

単位：百万円・%

預 金			貸 出 金		
残 高	前年同月比	前 月 比	貸 出 金	前年同月比	前 月 比
161,516	1.10	1.02	58,971	1.05	1.03

(資料出所：浦河・静内金融協会)

5. 浦河町・新ひだか町静内 手形交換高

令和2年10月

	当 月	前年同月比 (%)	前月比 (%)
交 換 枚 数 (枚)	150	-33.33	-23.86
交 換 金 額 (百万円)	361	-22.03	-7.44
不渡り手形枚数 (枚)	0	-	-
不渡り手形金額 (百万円)	0	-	-

令和2年11月

交 換 枚 数 (枚)	258	72.00	72.00
交 換 金 額 (百万円)	496	32.62	37.40
不渡り手形枚数 (枚)	0	-	-
不渡り手形金額 (百万円)	0	-	-

令和2年12月

交 換 枚 数 (枚)	142	-39.83	-44.96
交 換 金 額 (百万円)	620	4.73	25.00
不渡り手形枚数 (枚)	0	-	-
不渡り手形金額 (百万円)	0	-	-

(資料出所：浦河・静内金融協会)

6. 建築確認申請

単位：件数

		件数	前年同期比	前四半期比
当金庫管内 (新ひだか町～広尾町)	2/10～2/12月迄の累計	21	4	-7
	2/4～2/12月迄の累計	75	-4	

(資料出所：各町村)

7. 気象情報

令和2年10月中

	本年			平年偏差・平年比		
	気温(℃)	降水量(mm)	日照時間	気温(℃)	降水量(%)	日照時間(%)
浦河	13.0	172.5	171.5	1.0	173.7	98.1
広尾	11.9	178.5	163.1	1.0	104.1	97.4

令和2年11月中

浦河	7.1	75.0	115.7	1.2	92.9	94.8
広尾	6.4	54.5	150.6	1.5	39.9	101.5

令和2年12月中

浦河	-0.8	28.0	100.4	-1.0	55.4	88.0
広尾	-1.1	8.0	186.2	0.2	9.5	126.8

(資料出所：国土交通省 気象庁)

全 国 ・ 全 道 の 概 況

信金中央金庫がまとめた全国信用金庫の窓口から見た中小企業の景況によると、2020年10～12月期（今期）の業況判断D. I. は△36.2、前期比12.1ポイントの改善と、厳しい水準ながら2四半期続けての改善となった。収益面では、前年同期比売上額判断D. I. が△47.0と前期比9.1ポイント改善、同収益判断D. I. は△44.9と同9.7ポイント改善した。販売価格判断D. I. は前期比1.4ポイント上昇して△5.2となった。人手過不足判断D. I. は△13.3と人手不足感が2四半期続けて強まった。設備投資実施企業割合は0.1ポイント低下して18.9%となった。業種別の業況判断D. I. は全6業種で、地域別でも全11地域で、それぞれ改善した。2021年1～3月期（来期）の予想業況判断D. I. は△41.9、今期実績比5.7ポイントの悪化を見込んでいる。業種別では全6業種で、地域別では首都圏を除く10地域で、それぞれ悪化する見通しにある。

日本銀行札幌支店が12月14日発表した金融経済概況によると、北海道地域の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響から引き続き厳しい状態にあり、足もとでは持ち直しのペースが鈍化している。すなわち、個人消費は、引き続き低い水準となっており、足もとでは持ち直しのペースが鈍化している。観光は、引き続き厳しい状況にあり、足もとでは持ち直しのペースが鈍化している。輸出、住宅投資は横ばい圏内の動きとなっている。設備投資は減少している。公共投資は高水準で推移している。生産は下げ止まっている。雇用・所得情勢をみると、労働需給、雇用者所得ともに弱めの動きがみられている。

需要項目別動向

- 公共投資・・・高水準で推移している。公共工事の発注の動きを示す公共工事請負金額は、高水準で推移している。
- 輸出・・・横ばい圏内の動きとなっている。主要品目別にみると、食料品などで横ばい圏内の動きとなっている。この間、輸送用機器では、持ち直している。
- 設備投資・・・減少している。12月短観（北海道地区）における2020年度の設備投資は、前年を下回る計画となっている。
- 個人消費・・・引き続き低い水準となっており、足もとでは持ち直しのペースが鈍化している。サービス消費、百貨店販売などでは、引き続き低い水準となっており、足もとでは持ち直しのペースが鈍化している。日用品や食料品では底堅い動きとなっている。
- 観光・・・引き続き厳しい状況にあり、足もとでは持ち直しのペースが鈍化している。
- 住宅投資・・・横ばい圏内の動きとなっている。新設住宅着工戸数をみると、持家は横ばい圏内の動きとなっている。貸家は低水準で推移している。分譲は高めの水準で推移している。
- 生産（鉱工業生産）・・・下げ止まっている。主要業種別にみると、電気機械などでは下げ止まっている。輸送機械では持ち直している。食料品では、一部に弱めの動きがみられるものの、横ばい圏内の動きとなっている。紙・パルプでは低水準で推移している。
- 雇用・所得・・・雇用・所得情勢をみると、労働需給、雇用者所得ともに弱めの動きがみられている。